



廿日市市

地域支援員だより

2025 夏号

写真：植え付け直後のマコモタケ(栗栖地区)

地域支援員とは

地域情報を発信したり、一緒に地域おこし活動をしたり、地域内外の交流をはかりながら、地域の力を強くするために廿日市市の職員として1年単位で任用された人のことです。任期は最長3年間。その限られた時間の中で、何をやっているのか、廿日市市でどんな動きがあるのかを知ってもらいたくて、この冊子を作りました。



マコモタケ 今年もやります！



今年度も、遊休農地の解消を目指したマコモタケの栽培支援を行っていきます！より多くの方にマコモタケを認知していただけるように取り組んでいきます！

生産者の組織化

4月3日に、現在マコモタケを栽培している農業者で集まり、情報共有会を開催しました。肥料の変更や波板の設置など、昨年度からの変更点について確認しました。また、マコモタケ栽培の同好会を設立し、組織化することを決めました。地域の遊休農地の活用・マコモタケの栽培拡大を目的として、より柔軟に活動していけるよう、今後も話し合いの場を継続して設けていく予定です。

地域支援員ファーム始動します！



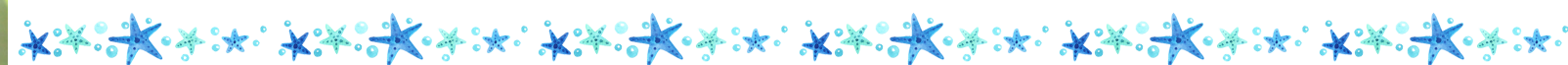
新たに支援員ファームを運営することになりました！定住推進担当とタッグを組んで、農業と移住定住の両面から佐伯地域のPRに取り組んでいきます！

地域支援員ファームについて

地域支援員ファームは、農業担当・定住推進担当の両支援員が協力して試験的に運営を始めたほ場です。場所は浅原地区です。今後、収穫体験や収穫物を利用したイベントの開催を計画しています！早速5月14日にトウモロコシの播種を行いました。その他、栽培作物としてカボチャやスイカを植える予定です。まずは地域の夏祭りへの出店を目指して頑張っていきます！



地域農業活性化担当 乾



「けんだまつり」 廿日市駅通り商店会

今年もけん玉商店街で「けんだまつり」が開催されます！今年はプロレスやけん玉大会が開催！ぜひ遊びに行ってみては？

日時：7月12日(土)17時～21時頃

場所：けん玉商店街

飲食ブース

商店会のお店や廿日市近郊からの出店などがあります。



けんだまんじゅう撒き

19時30分頃実施！

※時間は前後する場合がございます。



けん玉商店街プロレス

けん玉商店街に吉和出身プロレスラーの宮本裕向選手がスペシャルゲストとしてやってくる！！



実際に広場にリングが設けられ、生でプロレスの試合を見ることができます！

ひろしんpresents けん玉大会



キッズプロレス体験(要予約)

プロレスラーさんの指導のもと、マット運動や筋トレを実施します。

●対象：小学生 ●時間：①16:30～②18:15～

「佐方夜市夏祭り」 佐方中央商店会

毎年恒例の佐方中央商店会主催「佐方夜市夏祭り」が開催されます。この機会に佐方のまちを歩いてみませんか？

日時：7月19日(土)17時～21時頃

場所：佐方川緑地公園

飲食ブース

佐方川緑地公園や商店街店舗前に出店があります！この機会にお店を回ってみては？



ステージエリア

佐方川緑地公園では、ステージエリアが設けられ、昨年は吹奏楽の演奏やダンスなどが披露されました。今年はどんなパフォーマンスが！？

プラグレストリート

昨年復活した「プラグレストリート」が今年も開催！一夜限りのパフォーマンスをお楽しみください！



抽選会

お祭りの最後には「抽選会」が実施されます！チラシについている抽選券引換券を受付で交換しご参加ください。



商店街活性化担当 狩山

佐伯高校の下宿管理人さんを募集しています



遠方から佐伯高校に通う生徒たちを迎え、日常を共にする「下宿制度」。生徒たちが地域で安心して学べる環境の背景には、「下宿管理人」さんの存在があります。そして現在、この制度を支えてくださる新たな下宿管理人さんの募集を行っています。高校生の成長をそばで見守り、地域の未来に関わる——そんな暮らし方を選んでみませんか？

下宿管理人さんインタビュー

下宿制度をより多くの方に知ってもらうため、「下宿管理人」さんへのインタビュー動画を制作しました。「最初は不安だったけど、今では毎日献立を考えるのが楽しい」「日々の小さな課題を一つずつクリアできることに、“今日もできたな”って思えて、充実感を感じている」映像の中では、そんな声が優しい笑顔で語られています。

下宿制度は、地域で未来を育てる仕組みです。関心のある方はご相談ください。



高校生の成長を地域で支える“もう一つの家”。あなたのご協力をお待ちしています。



アーチェリー部



佐伯高校女子硬式野球部



佐伯高校の下宿の募集に関する問い合わせ

佐伯支所地域づくり係
Tel: 0829-72-1112
Mail: saikishisho@city.hatsukaichi.lg.jp
佐伯高校魅力化担当 稲田

玖島にきんさい♪

玖島花咲く館開館3周年記念イベント



玖島花咲く館開館3周年を記念し、4月4日～7日までの4日間イベントが開催されました。お祝い御膳や乾物のプレゼント、太鼓演奏(阿厳太鼓)、名入れスプーンプレゼント(フロム廿日市)等を行いました。また、ご家族や下村地域支援員にご協力をいただき、故佐藤満さん(玖島)の宮島ロクロ細工展示が実現しました。グラウンドでは、お花見やみんなでゲーム(キッズNPO)を開催。地区内外からたくさんの方にご来館いただきました。4年目を迎え、ますます皆さんの笑顔があふれる花咲く館となるよう、楽しい企画を考えていきたいです！！



玖島の空き家を考える会

会のメンバーや田崎地域支援員と共に、現地調査やマップの作成を行っています。今後は、空き家や移住・定住に関するイベントも計画していきたいです。



玖島地区コミュニティのInstagram
フォロワーが1000人を超えました！



避難訓練&防災訓練 チャレンジ防災IN玖島

地区の皆さんが関心をもって多数ご参加くださいました。梅雨の時期は豪雨や川の増水があります。防災意識を高めて過ごしましょう！！



8月16日(土)玖島きんさい盆踊りが予定されています。昨年は約600人来場！今年は更に玖島の夏を盛り上げましょう🌟地域に伝わる盆踊りや、お化け屋敷、出店、花火をお楽しみに♪一緒に盛り上げて下さる方大募集中！

マジクジマ 本気玖島 おいもプロジェクト発動！



コミュニティ文化部主催の本気玖島プロジェクト。5月にさつまいもの苗植えを行いました。秋には収穫イベントを計画されています♪

玖島地区活性化担当 東

宮島細工、民俗文化財の登録に向けた準備

宮島細工の杓子、ロクロ細工、宮島彫りの製品および作品を製作するための道具や製作された製品を民俗文化財の登録に向けて、廿日市市文化財課が中心となり、宮島歴史民俗資料館、宮島伝統産業会館が協力し、調査や収集作業を進めています。登録完了は約2年後の予定です。

※民俗文化財とは暮らしの中での慣習、生業、民俗芸能、民俗技術及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋など人々が日常生活の中で生み出し、継承してきたもので、特に資料性が高く、保存措置が必要だったり、保存のための措置や施策が功を奏すると期待される資料を、国や地方公共団体が文化遺産保護制度の一環として指定した文化財です。



宮島伝統産業会館で宮島ろくろの実習を実施

広島市立大学 芸術学部 漆造形分野の学生が、宮島伝統産業会館にて5月13日～5月27日の期間で計5日間、伝統工芸士の藤本悟氏の指導のもと、宮島ろくろの実習を行いました。

宮島ろくろの実習は、木材を削るための鉋(刃物)作りから行われます。鉋作りでは、鍛冶場で炭で火をおこし、赤く熱して叩いて形を整形していきます。そして焼き入れをし刃先を研いで鉋を仕上げていきます。木材を削る作業では、ロクロにツメと呼ばれる刃のついた治具を固定し、それに木材を打ち込んで固定し、回転させて削っていきます。参加した学生からは「藤本さんが「ろくろは刃物が命」と何度も言われていたことが印象に残っており、そのことを実習を通して体感することができた。」「ロクロも漆塗りも下地や下準備が重要であると実感した。」などの感想があり、学生たちにとって充実した実習となりました。



伝統工芸継承担当 下村

HIROHAI佐伯総合スポーツ公園で中山間振興ブース出店

5月11日(日)にHIROHAI佐伯総合スポーツ公園でウェスタンリーグのカープ対ドラゴンズ戦が行われました。私は入場口前のマルシェイベントで中山間地域振興室ブースを出店しました。ブースでは中山間への移住定住情報を掲示し、廿日市市中山間地域の特産品や魅力が詰まった品々を用意したガラガラ抽選会を実施。たくさん子どもたちが景品を手にし、笑顔で楽しむ姿が印象的でした。イベントを通じて地域の良さを広く発信できたことを嬉しく思います。今後も中山間地域の振興に力を入れ、より多くの方々に関心を持っていただけるよう取り組んでいきたいです。



中山間地域振興室ブース

第5回 津田商店街ココから2 DAYSが開催

今年も商店街の活性化を目的に、第5回津田商店街ココから2DAYSが開催されました。多くの関係者の協力のもと、1日目は商店街を歩くイベント、2日間を通じてはマルシェイベントを無事に実施することができました。

1日目は参加者とともに商店街を実際に歩き、津田地区在住の金澤さんの畑でお茶摘みワークショップを行いました。また、商店街の空き家を活用して古民家カフェを営む『25Bekkan』では、創業に関する意見交換を実施。参加者からは「普段は何気なく通り過ぎていたが、新たな魅力を知ることができた」といった意見があり商店街を知るきっかけづくりができました。2日目のマルシェでは、旧藤井精肉店を借りて地域支援員ブースを設置し、マルシェや地域に関する情報提供、商店街をめぐるスタンプラリーの景品の受け渡しを行う総合窓口を担当しました。子どもたちが家族と一緒に商店街を回遊し、スタンプを全部集めた参加者には綿菓子と商店街に集まった雑貨類が景品としてプレゼントされ、子どもたちの笑顔があふれました。今後も地域住民・来場者・出店者が一体となることを大切にし、津田商店街をさらに魅力的な場所になるように取り組んでいきたいです。



(↓)景品GET (↑)金澤家で茶葉摘み



定住推進担当 田崎